

「キャリア」や「能力」がより評価される社会の実現へ

実践キャリア・アップ戦略

平成24年秋から
レベル認定がスタートします。

ビジネスチャンスが
広がるな!



実践キャリア・アップ戦略の意義

実践キャリア・アップ戦略は、新成長戦略における「21の国家プロジェクト」のひとつです。実践的な職業能力の評価・認定制度（キャリア段位制度）によって、成長分野における人材育成を進めることにより、労働移動を促すものです。

これまでのような「肩書き社会」ではなく、「キャリア」・「能力」がより評価される社会の実現を目指した制度です。

キャリア段位制度の全体像

①介護プロフェッショナル、②カーボンマネジャー、③食の6次産業化プロデューサーを選定し、実践的な職業能力に重点を置き、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価し、7段階のレベルの認定を行うこととしています。

24年度に実施機関の公募を行った上で、24年秋からレベル認定を開始し、全国に普及させていきます。

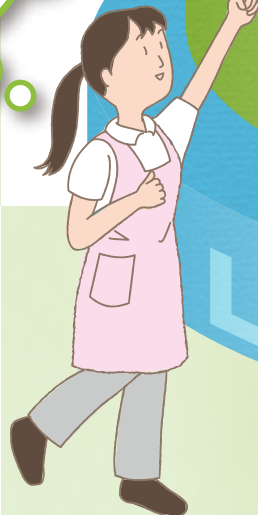
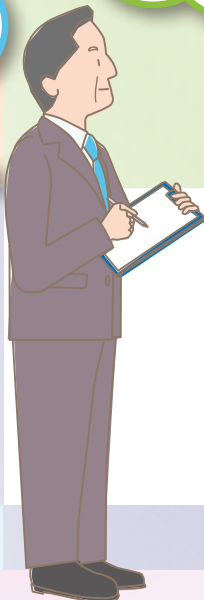
職業の
プロフェッショナルを
目指してスタート!



専門スキルを
レベルアップさせ
プロを目指そう!

うちの研修でも
役に立ちそうだな!

客観的な評価で
知識や実践的
スキルがアピール
できる!



レベル認定が平成24年秋から 3つの分野でスタートします。

介護 プロフェッショナル



認定の対象となる「**介護プロフェッショナル**」とは、特別養護老人ホームや老健施設、認知症グループホーム、ホームヘルパーの事業所等で、主に高齢者の介護を行う方です。

入浴や排泄等の介護技術や、利用者・家族とのコミュニケーション、感染症や事故への対応、地域包括ケアに必要な関係機関や専門職と連携する能力等をOJTの中で客観的に評価することにより、介護福祉士資格を持っている、ホームヘルパー研修を修了したというだけでなく、現場で実際に何ができるかを証明します。レベル認定を受けることで、給与等の重要な判断材料になることが期待されます。

また、就職の際に実践的な介護スキルがアピールできるようになるとともに、介護分野を目指す人や働く人の目標となる能力が明らかになります。

※施設や事業所において、OJTの一環としてこの制度を導入することにより、介護職員の処遇改善のため介護報酬の一定割合が加算される「処遇改善加算」のキャリアパス要件を満たすこととする予定です（10月施行予定）。（職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めること等のキャリアパス要件によりがたい場合に限りません。）

カーボンマネジャー

「**カーボンマネジャー**」とは、省エネと温室効果ガス(GHG)削減・吸収を進めるための様々な取組に関する診断（審査・検証等を含む）、実効力のあるアドバイス、及びその実践を行うことのできる方のことです。

我が国は世界最高水準の省エネ技術を持っていますが、エネルギー自給率が低い我が国においては、更なる節電や再生可能エネルギーの導入等、エネルギーのマネジメントの推進が重要です。また、GHG排出削減策として、炭素クレジット(GHG排出削減・吸収量証明)の取引を行う機会が増えています。

「カーボンマネジャー」として、より高いレベルの認定を受けることにより、省エネから炭素クレジット取引まで幅広い知識・技能・実務経験を持ち、エネルギーとCO₂の総合的なマネジメントができることを、広くアピールできるようになります。



食の6次産業化 プロデューサー



「**食の6次産業化プロデューサー**」とは、生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売・サービス（3次産業）の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、新たなビジネスを創出する方のことです。

レベル認定を受けることにより、商品開発や売り方などのノウハウや現場での実践的なスキルを客観的にチェックし、キャリア・アップの指標とすることができます。

また、「食の6次産業プロデューサー」として、より高いレベルの認定を受けることで、消費者の信頼が高まる、商談を行いやすくなる、ビジネスパートナーを見つけやすくなる、といった効果が期待されます。